



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 三重交通グループホールディングス株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 3232 URL <http://holdings.sanco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小倉 敏秀  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ 経理担当部長 (氏名) 長井 康明 (TEL) 059-213-0351  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	46,468	1.9	3,039	25.4	3,054	27.0	1,857	12.5
29年3月期第2四半期	45,598	△1.4	2,422	△12.3	2,404	△12.9	1,650	△19.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,324百万円(122.4%) 29年3月期第2四半期 1,045百万円(△45.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	18.76	—
29年3月期第2四半期	16.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	160,388	41,298	25.6
29年3月期	155,859	39,666	25.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 41,077百万円 29年3月期 39,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年3月期の期末配当金には、当社が28年10月に設立10周年を迎えたことから、記念配当1円を含んでおります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	3.2	6,100	9.4	6,100	11.2	4,000	13.3	40.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	107,301,583株	29年3月期	107,301,583株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	8,304,260株	29年3月期	8,303,896株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	98,997,557株	29年3月期2Q	97,367,951株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

・当社は、平成29年11月21日(火)にアナリスト及び機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する資料については、当社ホームページに速やかに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(セグメント情報)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という。）におけるわが国経済は、欧米の政治情勢や東アジア地域における地政学リスクの高まりなど海外の政治経済情勢の不確実性の懸念はあるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善効果もあり、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、平成28年2月策定の中期経営計画達成のため、「安全・安心・安定・快適なサービスの提供」、「成長分野への戦略的投資」、「経営の安定性確保」の3つの基本方針に基づき、積極的に事業を推進しました。

特に、本年4月から5月にかけて開催された「お伊勢さん菓子博2017」（以下「菓子博」という。）では、運輸セグメントにおいて来場者の旅客輸送を無事完遂したほか、レジャー・サービスセグメントにおいて来場者や関係者の宿泊及び会場での飲食販売など、「安全・安心・安定・快適なサービスの提供」と収益確保に努めました。

また、「成長分野への戦略的投資」として掲げた分野では、不動産セグメントにおいて環境エネルギー事業の増収に伴い大幅な増益となったほか、レジャー・サービスセグメントのビジネスホテル事業において、各ホテルが高稼働率を維持していることに加え、前年11月にオープンした「三交イン伊勢市駅前」の収益が寄与したこともあり、好調に推移しました。

この結果、当第2四半期における当社グループの営業収益は、464億68百万円（前年同期比8億70百万円、1.9%増）となり、営業利益は30億39百万円（同6億16百万円、25.4%増）、経常利益は30億54百万円（同6億49百万円、27.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億57百万円（同2億6百万円、12.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(運輸セグメント)

一般乗合旅客自動車運送事業(乗合バス)では、前年4月に導入した路線バスICカードの利用拡大に伴う増収効果に加え、菓子博開催などによる旅客人員の増により、営業収益は増加しました。一般貸切旅客自動車運送事業(貸切バス)では、菓子博の旅客輸送による増収効果はあったものの、受注減に伴う稼働率の低下により、営業収益は減少しました。一般乗用旅客自動車運送事業(タクシー)では、菓子博開催などによる利用増により、営業収益は増加しました。旅客運送受託事業では、名古屋市交通局からの管理受託料が増加したことにより、営業収益は増加しました。

この結果、運輸セグメントの営業収益は134億84百万円(前年同期比2億68百万円、2.0%増)となり、営業利益は14億24百万円(同1百万円、0.1%減)となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益(百万円)	前年同期比(%)
一般乗合旅客自動車運送事業(乗合バス)	5,804	3.7
一般貸切旅客自動車運送事業(貸切バス)	3,991	△2.5
一般乗用旅客自動車運送事業(タクシー)	750	4.2
貨物自動車運送事業	99	△0.4
自動車整備事業	259	20.1
旅客運送受託事業	2,133	1.6
その他	1,400	6.1
小計	14,439	2.1
内部取引の消去	△955	—
合計	13,484	2.0

(注) 一般旅客自動車運送事業における営業成績は下記のとおりであります。

区分	単位	一般乗合 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)	一般貸切 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)	一般乗用 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)
営業日数	日	183	0.0	183	0.0	183	0.0
期末在籍車両数	両	813	△1.7	335	△1.2	242	2.1
営業キロ	km	6,670	0.6	—	—	—	—
実働走行キロ	千km	17,635	△3.1	8,925	△3.4	1,709	3.1
旅客人員	千人	21,736	1.9	1,209	3.9	552	2.2
旅客運送収入	百万円	5,671	3.8	3,609	△3.2	749	4.2
運送雑収	百万円	133	△2.0	381	4.1	0	76.4

(不動産セグメント)

分譲事業では、前年同期には京都市で「ジ・アーバネックス京都河原町プレイズ」、「プレイズ御所南」等の高価格帯物件のマンション販売収入があったことに加え、買取仲介の取扱件数の減により、営業収益は減少しました。賃貸事業では、既存施設のリニューアルや稼働率向上に努めるとともに、一部テナントの入れ替えに伴う精算金等もあり、営業収益は増加しました。建築事業では、注文住宅の竣工引渡し件数の減により、営業収益は減少しました。環境エネルギー事業では、本年2月に運転を開始した「志摩市磯部穴川メガソーラー発電所」の売電収入が寄与し、営業収益は増加しました。仲介事業では、三重県における取扱件数が伸び、営業収益は増加しました。

この結果、不動産セグメントの営業収益は121億61百万円（前年同期比3億82百万円、3.2%増）となり、営業利益は14億43百万円（同4億55百万円、46.1%増）となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益（百万円）	前年同期比（%）
分譲事業	3,178	△12.6
賃貸事業	4,196	2.8
建築事業	1,727	△2.2
環境エネルギー事業	1,730	54.5
仲介事業	582	12.3
その他	946	8.5
小計	12,362	3.1
内部取引の消去	△200	—
合計	12,161	3.2

(注) 1 分譲事業及び建築事業の営業収益は、その計上時期が第4四半期連結会計期間に偏る傾向があり、第2四半期連結累計期間の計上額が相対的に少なくなるという季節の変動があります。

2 分譲事業における営業成績は下記のとおりであります。

区分	土地 (ロット)	前年同期比 (%)	建物 (戸)	前年同期比 (%)	営業収益 (百万円)	前年同期比 (%)
戸建分譲	36	△25.0	18	△35.7	771	△17.8
マンション分譲 (持分換算後)	—	—	86 (71.0)	△54.7 (△4.7)	2,235	△16.1
土地売却他	—	—	—	—	171	415.9

3 建築事業における受注状況は下記のとおりであります。

区分	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
建築事業	3,069	13.8	4,387	△1.6

(流通セグメント)

石油製品販売事業では、不採算ガソリンスタンドの閉鎖やエコカー普及により販売数量は減少したものの、販売単価の上昇により、営業収益は増加しました。生活用品販売事業では、フランチャイズ展開する東急ハンズにおける購買客数の減により、営業収益は減少しました。自動車販売事業では、新車販売台数の減により、営業収益は減少しました。

この結果、流通セグメントの営業収益は178億99百万円（前年同期比61百万円、0.3%減）となり、営業利益は41百万円（前年同四半期営業損失17百万円）となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益（百万円）	前年同期比（%）
石油製品販売事業	5,649	6.6
生活用品販売事業	6,125	△3.8
自動車販売事業	6,154	△2.4
小計	17,929	△0.3
内部取引の消去	△29	—
合計	17,899	△0.3

(レジャー・サービスセグメント)

ビジネスホテル事業では、各ホテルが高稼働率を維持していることに加え、前年11月にオープンした「三交イン伊勢市駅前」の収益が寄与したことにより、営業収益は増加しました。旅館事業では、前年4月のリニューアル効果に加え、宿泊単価の上昇に努めたことにより、営業収益は増加しました。ドライブイン事業では、菓子博に伴うバス立寄り台数の増加により、また、索道事業（ロープウェイ）では、前年の伊勢志摩サミット開催に伴う出控えの反動や梅雨入り後も本年は比較的天候に恵まれたこともあり来訪者が増加し、営業収益は増加しました。

この結果、レジャー・サービスセグメントの営業収益は59億円（前年同期比5億7百万円、9.4%増）となり、営業利益は97百万円（前年同四半期営業損失22百万円）となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益（百万円）	前年同期比（%）
ビジネスホテル事業	1,879	18.8
旅館事業	1,551	12.2
ドライブイン事業	1,073	7.0
索道事業(ロープウェイ)	263	3.6
ゴルフ場事業	227	△1.8
旅行事業	399	△6.3
自動車教習所事業	378	△5.3
その他	129	15.7
小計	5,903	9.5
内部取引の消去	△3	—
合計	5,900	9.4

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末(平成29年9月30日現在)における財政状態は、資産は販売用不動産の増加等により1,603億88百万円(前連結会計年度末比45億29百万円増)となりました。また、負債は短期借入金の増加等により1,190億90百万円(同28億97百万円増)となりました。純資産は利益剰余金の増加等により412億98百万円(同16億31百万円増)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、マンション販売等にかかるたな卸資産の増加等により、3億16百万円の支出(前年同期比3百万円支出増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得等により、34億5百万円の支出(同10億70百万円支出減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により、31億67百万円の収入(同7億69百万円収入減)となり、この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、21億93百万円(前連結会計年度末比5億53百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成29年8月3日に公表した連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

(平成30年3月期連結業績予想)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	106,000	5,800	5,600	3,700	37.37
今回修正予想(B)	106,000	6,100	6,100	4,000	40.41
増減額(B-A)	0	300	500	300	
増減率(%)	0.0	5.2	8.9	8.1	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	102,742	5,576	5,487	3,529	35.95

通期の連結業績予想につきましては、営業収益は前回予想どおりとなる見込みではありますが、営業利益は、販売経費、燃料費等の経費軽減効果並びに環境エネルギー事業及びビジネスホテル事業の好調により増益を見込み、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、低金利政策の継続等により、それぞれ前回発表予想を上回る見込みであります。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在のデータに基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想と異なる可能性があります。



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,757,077	2,203,238
受取手形及び売掛金	7,129,196	7,311,154
商品及び製品	2,966,085	2,982,663
販売用不動産	21,370,439	24,062,845
仕掛品	283,382	688,957
原材料及び貯蔵品	303,223	308,395
その他	4,401,375	4,774,640
貸倒引当金	△74,296	△52,697
流動資産合計	39,136,484	42,279,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,851,705	27,828,087
機械装置及び運搬具（純額）	18,764,611	19,445,206
土地	47,706,482	48,721,973
その他（純額）	2,665,411	2,587,070
有形固定資産合計	97,988,210	98,582,337
無形固定資産		
その他	432,509	414,524
無形固定資産合計	432,509	414,524
投資その他の資産		
その他	18,886,762	19,697,412
貸倒引当金	△584,572	△585,076
投資その他の資産合計	18,302,189	19,112,336
固定資産合計	116,722,909	118,109,198
資産合計	155,859,394	160,388,396
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,571,914	3,823,589
短期借入金	22,634,000	28,032,000
1年内返済予定の長期借入金	16,119,845	14,871,950
未払法人税等	652,047	991,196
引当金	1,249,856	1,255,649
資産除去債務	3,700	3,700
その他	9,513,119	10,012,612
流動負債合計	55,744,483	58,990,699
固定負債		
長期借入金	38,084,061	37,806,371
引当金	124,744	141,532
退職給付に係る負債	2,682,753	2,561,353
資産除去債務	1,054,796	1,073,128
長期預り保証金	13,077,259	12,895,078
その他	5,424,306	5,621,844
固定負債合計	60,447,921	60,099,308
負債合計	116,192,404	119,090,008

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	10,154,816	10,154,816
利益剰余金	20,134,805	21,299,016
自己株式	△757,277	△757,426
株主資本合計	32,532,344	33,696,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,580,069	5,034,521
土地再評価差額金	2,152,116	2,152,116
退職給付に係る調整累計額	187,167	194,288
その他の包括利益累計額合計	6,919,354	7,380,926
非支配株主持分	215,290	221,054
純資産合計	39,666,989	41,298,388
負債純資産合計	155,859,394	160,388,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益	45,598,351	46,468,698
営業費用		
運輸業等営業費及び売上原価	33,486,904	33,570,188
販売費及び一般管理費	9,688,691	9,859,210
営業費用合計	43,175,595	43,429,399
営業利益	2,422,756	3,039,298
営業外収益		
受取配当金	151,719	150,087
その他	125,048	104,847
営業外収益合計	276,768	254,934
営業外費用		
支払利息	247,386	213,928
その他	47,411	26,226
営業外費用合計	294,797	240,154
経常利益	2,404,727	3,054,077
特別利益		
固定資産売却益	17,550	38,378
投資有価証券売却益	39,361	22,546
その他	404,581	17,318
特別利益合計	461,493	78,242
特別損失		
固定資産処分損	40,903	375,461
その他	421,918	18,698
特別損失合計	462,821	394,159
税金等調整前四半期純利益	2,403,399	2,738,161
法人税等	747,809	875,521
四半期純利益	1,655,589	1,862,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,135	5,444
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,650,454	1,857,194

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,655,589	1,862,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△587,660	454,967
繰延ヘッジ損益	1,282	—
退職給付に係る調整額	△24,095	6,886
その他の包括利益合計	△610,473	461,853
四半期包括利益	1,045,116	2,324,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,040,025	2,318,766
非支配株主に係る四半期包括利益	5,091	5,725

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,403,399	2,738,161
減価償却費	2,513,826	2,791,933
受取利息及び受取配当金	△153,331	△151,816
支払利息	247,386	213,928
固定資産売却損益(△は益)	△17,346	△37,328
固定資産処分損益(△は益)	40,699	374,411
売上債権の増減額(△は増加)	458,317	23,199
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,983,909	△3,127,478
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,656,497	△1,786,764
未払消費税等の増減額(△は減少)	126,306	132,941
その他の流動資産の増減額(△は増加)	317,305	△145,856
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△865,974	△175,589
その他	67,390	△446,928
小計	497,573	402,813
利息及び配当金の受取額	152,477	150,672
利息の支払額	△211,706	△173,114
補助金の受取額	394,520	5,509
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,145,552	△702,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	△312,688	△316,292
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△4,549,443	△3,356,193
固定資産の売却による収入	114,461	128,887
投資有価証券の取得による支出	△2,427	△2,198
投資有価証券の売却による収入	281,551	32,923
投融資による支出	△55,663	△204,060
投融資の回収による収入	16,681	77,695
預り保証金の受入による収入	117,249	269,292
預り保証金の返還による支出	△383,885	△380,293
その他	△14,281	28,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,475,755	△3,405,093
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,813,000	5,398,000
長期借入れによる収入	11,430,000	7,555,000
長期借入金の返済による支出	△6,231,944	△9,080,585
自己株式の売却による収入	2,126,537	—
自己株式の取得による支出	△82	△148
配当金の支払額	△563,741	△692,983
非支配株主への配当金の支払額	△430	△430
その他	△10,513	△11,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,936,825	3,167,546
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△851,619	△553,839
現金及び現金同等物の期首残高	3,256,827	2,747,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,405,208	2,193,238

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	運輸	不動産	流通	レジャー・ サービス	計		
営業収益							
外部顧客への 営業収益	12,373,026	11,275,739	16,678,073	5,271,513	45,598,351	—	45,598,351
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	842,590	503,882	1,282,921	121,838	2,751,233	△2,751,233	—
計	13,215,617	11,779,621	17,960,995	5,393,351	48,349,585	△2,751,233	45,598,351
セグメント利益 又は損失(△)	1,426,333	987,887	△17,972	△22,707	2,373,541	49,215	2,422,756

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額49,215千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	運輸	不動産	流通	レジャー・ サービス	計		
営業収益							
外部顧客への 営業収益	12,568,785	11,656,988	16,465,036	5,777,887	46,468,698	—	46,468,698
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	915,476	504,755	1,434,834	122,613	2,977,678	△2,977,678	—
計	13,484,261	12,161,743	17,899,870	5,900,500	49,446,376	△2,977,678	46,468,698
セグメント利益	1,424,715	1,443,410	41,548	97,184	3,006,859	32,439	3,039,298

(注) 1. セグメント利益の調整額32,439千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。